

ふくしま共創のまちづくり計画

渡 利 地 区（素案）

作 成：渡利地区ふくしま共創のまちづくり計画
策定懇談会
事務局：渡利支所内
電 話：（０２４）５２３－５００１

地域ビジョン

阿武隈川と花見山に囲まれたやすらぎの桃源郷 わたり

○安全・安心で快適に暮らせる、やすらぎとふれあいのある
住みよいまち

○みんなが知恵を出し合い助け合う、明るく活力のあるまち

○豊かな自然環境を守り、渡利ならではの歴史を活かすまち

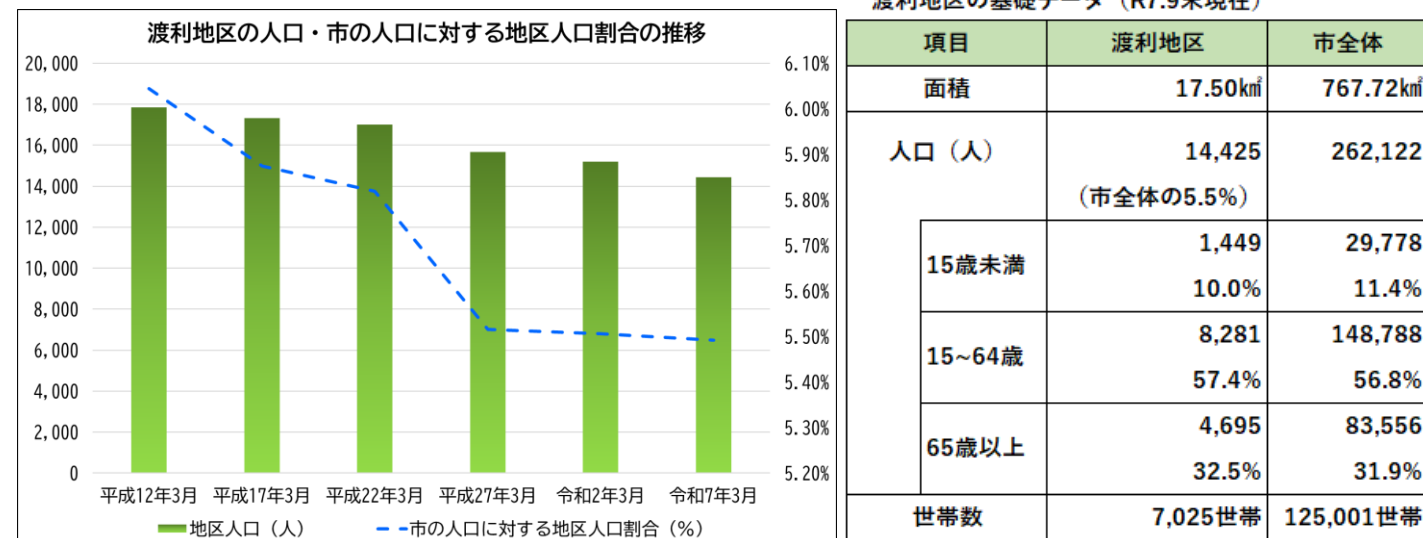


福島県の桃源郷「花見山」

地域の個性

- 【特 性】 あぶくまクリーンセンターや斎場、旧渡利浄水場など、渡利地区は長年にわたって福島市民の生活環境の基盤を支えてきました。
- 【位 置】 阿武隈川の右岸、中心市街地の東南に隣接し、渡利、小倉寺、南向台の三地域で構成されています。
- 【交 通】 国道４号と国道１１４号を基軸に、東西に幹線道路が走っており、阿武隈川左岸の市街地とは松齢橋など７つの橋でつながっています。
- 【自 然 環 境】 弁天山・十万劫山や阿武隈川に囲まれ、里山や花木畑が広がっています。また、渡利水辺の楽校は、親水空間として水辺の活動や散策に活用されており、十万劫山に至る「信夫の細道」などのハイキングコースでは自然を身近に感じることができます。
- 【歴 史】 安寿と厨子王の言い伝えがある弁天山、塩の道や信夫の細道、阿武隈川舟運が盛んであったころの渡し跡などの史跡のほか、国重要文化財である千手観音（大蔵寺）などの歴史的遺産も多く残されています。信達地方で隆盛した養蚕業の衰退後、産業転換により花卉生産が盛んとなりました。
- 【観光、名所】 「桃源郷」と称えられる花見山公園、江戸彼岸桜などの桜の名所でもあり史跡が残る弁天山や、桜が美しい茶屋沼は市民の憩いの場所になっています。

渡利地区の基礎データ（R7.9末現在）



地域の取り組みの実績

- （１）防災意識向上を図る活動
各町会単位や町会合同で自主防災訓練を定期的を実施しています。
- （２）通学時の見守り活動
渡利こども見守る会や南向台安全パトロール隊、渡利交通安全母の会を中心に、登下校時に子どもを見守る活動をしています。
- （３）花見山の振興と原風景維持の取り組み
花見山観光振興協議会が花見山の観光客受け入れや原風景維持のための取り組みをしています。
- （４）河川環境を生かす活動
水辺の会わたりが阿武隈川と渡利水辺の楽校を保全・活用する取り組みをしています。
- （５）歴史資源の掘り起こし
渡利地区歴史研究会、信夫の細道小倉寺保存会が歴史資源の研究・保全に取り組んでいます。



4町会合同自主防災訓練の様子

地域の強みとなる資源

- （１）花見山と周辺の花木畑
花見山公園とその周辺の美しい景観は、地区の花卉生産農家の集落による色とりどりの花木畑やきれいな小川、里の原風景で織りなされています。その美しさから写真家の故・秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と称えて紹介し、全国に誇る花の名所として知られています。
- （２）渡利水辺の楽校
自然豊かな河川環境を活用した子どもたちの遊び・自然体験・体験学習の場として、平成８年に国土交通省が阿武隈川河川敷に整備した施設です。その維持管理活動や、地域の子もたちが阿武隈川に親しみ、理解を深めるための諸活動には「水辺の会わたり」が協力・支援しています。
- （３）渡利の史跡・文化財



○木造千手観音菩薩立像（大蔵寺）



○大沢川に架かる「めがね橋」（選奨土木遺産）



○安寿と厨子王伝承碑（渡利字椿館地内）



○模擬原爆の破片（※）（保管場所：瑞龍寺）



○信夫渡碑（春日神社境内）



○義民菅野作左衛門の供養塔（渡利字石垣地内）

（※）模擬原爆の破片…昭和２０年７月２０日午前８時３０分過ぎ、米軍機Ｂ２９が１発の模擬原爆（約５ｔ）を渡利の水田に投弾、不幸にも１４歳の少年がその犠牲となりました。後世に語り継ぐべき史実であり、いたましい戦禍の証となっています。

地域課題

- （１）社会生活環境の変化に伴って少子高齢化が加速。高齢化率は３２．５％（令和７年９月末現在）と年々高まり、町内会や各種団体等の地域活動の担い手が高齢化していること。
また、地域住民の活動参加率も低下傾向にあり（特に若年層や女性）、役員のなり手が少ないこと。
- （２）台風や局地的な大雨による河川の氾濫や道路の冠水、崩落や土石流の恐れがある急傾斜地が多く、河川の整備及び森林の保全対策と災害に備える取り組みが望まれていること。
- （３）花見山周辺地域の原風景維持と環境整備が望まれており、地域の保全と振興の方策について総合的・一体的に検討していく必要があること。
- （４）渡利地区東西道路の整備や、渡利地区と中心市街地とのアクセス強化が望まれていること（都市計画道路矢剣町渡利線の整備促進）。
- （５）弁天山、大蔵寺、十万劫山、花見山、茶屋沼を結ぶハイキングコースの整備充実が望まれていること。

重点的な取り組み

I わたりの安全な生活をみんなで守る取り組み

- 【方 針１】過去の水害や土砂災害などから得た教訓を生かしながら、さらに防災に対する意識を高め、災害に強いまちづくりを進めます。
- （新規）渡利地区合同防災訓練を実施し、防災組織の充実を図るとともに、災害が発生した場合の避難行動等について地域で考え、防災意識の向上を図ります。
- ・渡利地区合同防災訓練（仮称）
- （継続）災害時に自力での避難が困難な高齢者・障がい者などの避難行動要支援者を、地域で支える仕組みづくりを推進します。
- （継続）河川の氾濫や道路の冠水、土石流など、災害につながる危険性のある箇所について市と情報を共有しながら、地区内の減災を図る取り組みを進めます。
- 【方 針２】交通安全や防犯、防火のための活動を継続して行っています。
- （新規）買い物や散歩等のかたわらに、地域ぐるみで子どもや高齢者の安全を見守る「かたわら見守り」を実施します。
- ・渡利地区かたわら見守り活動（仮称）
- （継続）地区内の交通安全を確保し、安全意識の醸成を図ります。
- ・交通安全街頭啓発活動、カーブミラーの清掃、高齢者交通安全教室
- （継続）消防団や渡利地区青少年健全育成推進会、南向台小学区青少年健全育成推進会で夜間パトロール等を実施し、防犯、防火や危険箇所の解消に努めます。

II わたりっ子の健全育成

- 【方 針１】家庭・学校・地域が連携して、子どもたちを大切に育んでいきます。
- （継続）子どもたちが元気に活動し、子どもたちの声が聞こえる地域を目指します。
- （継続）世代間交流を図りながら、子どもたちの健やかな成長を促す活動を推進します。
- ・渡利地区青少年健全育成推進会・南向台小学区青少年健全育成推進会

III 健康づくり・健脚づくり

- 【方 針１】一人ひとりが健康への意識を高め、主体的に健康づくり、体力づくりを推進します。
- （継続）渡利地域包括支援センター等の団体や各種サークルと連携して、「いきいきももりん体操」などの健康づくりの取り組みを継続し、健康寿命の延伸を目指します。健脚のシンボルである大蔵寺の大わらじにあやかり、市民に花見山ウォーキングトレイルや信夫の細道を活用してもらうことで、健脚づくりを進めます。
- （拡充）感染症予防を意識した健康づくりを進め、健やかな体づくりに取り組みます。

IV みんなが活躍するふるさと「わたり」づくり

- 【方 針１】地域が活性化する活動を行っています。

（拡充）地区が一体となった運動会や文化祭、お祭りなどを開催し、にぎわいのある元気な渡利地区を創出します。

（継続）住民同士がふれあい、近所の顔が見える活動を展開していきます。

・小地域福祉活動

（拡充）幅広い世代に地域活動への参加の機会をさらに創出し、次世代を担う人材の育成に努めます。

【方 針２】高齢者が生きがいを持ち心豊かに暮らせるよう、地域全体で支えます。

（継続）高齢者世帯やひとり暮らし世帯を見守り、高齢者が安心して生活できるよう、サロン等のふれあいの場づくりに努めるとともに、高齢者の知識・経験を社会資源として活かします。

V 花見山などの地域資源の保全と掘り起こし

【方 針１】豊かな自然と原風景を保全し、それらを活かした地域振興を推進します。

（継続）本市の誇りである花見山周辺の原風景維持に取り組むとともに、おもてなしの心を醸成し、観光客を温かく迎えます。

・花見山クリーンアップ作戦

・くるみ川沿いに植栽したレンギョウの維持・管理

（継続）「ふくしま花回廊」の主要コンテンツである花見山や茶屋沼、大蔵寺のしだれ桜などを活用し、四季を通じて花観光を推進します。

（継続）「渡利水辺の^{がっこう}楽校」の環境整備に持続的に取り組み、水辺の活動を推進します。

・水辺の会わたりの諸活動、阿武隈川クリーンアップ作戦



レンギョウ周辺の草刈作業の様子

【方 針２】渡利の歴史を物語る史跡などを保全・活用し、訪れたいくなるまちづくりを推進します。

（継続）十万劫山を中心とした「信夫の細道」などのハイキングコースの整備と活用を図ります。

・草刈作業、コースの保全

（継続）安寿と厨子王の伝承碑や北畠顕国の碑などがある弁天山を活用し、地域の活性化に努めます。

・史跡を生かした伝承活動、清掃活動

（継続）大蔵寺の木造千手観音菩薩立像（国重要文化財）やしだれ桜など、地区内の多くの歴史的遺産の認知度をさらに高めるため、「ふくしま花回廊」などと連動して情報発信の取り組みを強化します。

VI 快適な生活環境づくり

【方 針１】住みよく快適な生活環境づくりを推進します。

（継続）渡利地区東西道路（都市計画道路矢剣町渡利線）の整備促進に向けた取り組みを継続し、渡利地区と中心市街地とのアクセス強化と、より安全で円滑な交通環境の確保を目指します。

（継続）ごみの分別など、ごみ出しのルールの周知徹底を図り、本市全体のごみの減量化とリサイクルを推進します。